



第131回理事会について

2020年3月13日開催の第131回一般社団法人電池工業会の理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から電磁的審議を行い、第1号議題(議案)から第4号議題(議案)について可決承認された。

また、第5号議題から第9号議題について報告された。

1. 審議事項

(1) 第1号議案 2020年度事業計画(案)の件

専務理事より提案され、「2020年度事業計画」として承認された。

(2) 第2号議案 2020年度事業予算(案)の件

専務理事より提案され、「2020年度事業予算」として承認された。

(3) 第3号議案 工業会規定改訂の件

専務理事より提案され、工業会規定改定2件について承認された。

(4) 第4号議案 会員入会の件

2020年4月1日付で株式会社エントリージャパンの入会が承認された。

2. 報告事項

(1) 第5号議題 職務執行状況の件

会長、副会長、専務理事の職務執行状況について報告された。

(2) 第6号議題 会員名称変更の件

(正会員)

(敬称略)

区分	会員名	変更年月日
新	エフエムシー・リチウムジャパン合同会社	2019.05.27
旧	エフエムシー・ケミカルズ株式会社	

(3) 第7号議題 退会の件

(賛助会員)

(敬称略)

会員名	退会年月日
新日本電工株式会社	2020.03.31
スペクトラム ブランズ ジャパン株式会社	2020.03.31

(4) 第8号議題 会員代表者変更の件

正会員2社、賛助会員17社の代表者変更について報告された。

(5) 第9号議題 事務局職員交代の件

着任出向職員2名、帰任出向職員2名について報告された。

上記5件について、報告された。

第94回 二次電池第2部会を開催

2020年2月14日、湯浅部会長(パナソニック(株))を議長に、第94回二次電池第2部会を開催した。冒頭でBAJ競争法コンプライアンスルールを順守することを確認した後、湯浅部会長と清水専務理事からの挨拶があり、続いて各委員会の代表から2019年度の活動報告と2020年度の活動計画が報告された。



1. 部会長挨拶

2020年の開始にあたり、過去10年は民生用から産業/車載用への変化の期間で、一定の成果はあったと考える。今後10年は車載用途が伸びていく一方、その電池をどのように活用・処理していくかということが重要になると思う。



2. 専務理事挨拶

二次第2の事業計画では、グローバル対応もあり予算も多くなっているが、規格や安全面で会員企業へ貢献できるような活動を検討いただきたい。

また経産省より国際競争力強化などについて面談の要望が来ており、電池は期待されているので対応をお願いしたい。



各委員会の事業報告と計画

各委員会より、2019年度事業報告、2020年度事業計画が報告された。

1. 技術委員会

JIS・IEC・SBA等の規格に関する審議と、電気用品安全法に関する対応。

<2019年度事業報告>

1) 民生用

- ・ Ni系安全性 (JIS C 62133-1 ※番号変更) 改正原案提出、2020年末発行見込み。
- ・ Li系安全性 (JIS C 62133-2 ※番号変更) 改正原案提出、2020年末発行見込み。

2) 産業用

- ・ LIB (IEC63056 IS 発行、IEC62619ed2 CDV 移行、独自導 IEC62485-5,6 FDIS 移行) 達成。
- ・ Ni-MH 性能 (IEC63115-1) 3月 IS (国際規格) 発行。
- ・ Ni-MH 安全 (IEC63115-2) 3月 FDIS (最終規格案) 回付。

3) 車載用

- ・ 非駆動用 LIB 安全 (IEC63057) IS (国際規格) 発行。

4) 環境

- ・ 民生用 NiCd, NiMH, Li-ion の環境規格 CDV (投票用原案) 作成。

5) 安全技術

- ・ 内部短絡代替試験の技術的検証、電安法技術基準への JIS 規格採用に向けた整合対応。
- ・ 経産省主導の「LIB 搭載機器安全基準」要件改定を機器団体 (JEITA, CIAJ) と協働で実施。

<2020年度事業計画>

1) 民生用

- ・ Ni系特性 (IEC 61951-1, IEC 61951-2) : CD (委員会原案) 回付 (10月)。
- ・ Li系安全性 (米主導 IEC 62133-2 Ed2) CD (委員会原案) 内容精査。

2) 産業用

- ・ 産業用 LIB (IEC62619ed2 FDIS、独自導 IEC62485-5,6 IS)、船舶用 LIB 規格/基準 (ISO 等) 支援。
- ・ 国土交通省 : 建築設備計画基準、建築設備設計基準の改訂 (適正化) 完了 (3月)。
- ・ 産業用 Ni-MH 安全 (IEC63115-2) 12月 IS (国際規格) 発行。

- ・ 新規 : 産業用 Ni-MH 安全 (JIS C 63115-2) 作成開始、2021年度規格発行。

3) 車載用

- ・ 非駆動用 LIB 性能 (IEC63118) CDV (投票用原案) 移行。

4) 環境

- ・ ポータブル用 NiCd, NiMH, Li-ion の環境規格の FDIS (最終規格案) 作成。

5) 安全技術

- ・ 内部短絡試験の代替法の規格化に協力 (日本自動車研究所と連携)。
- ・ LIB 搭載機器安全基準の要件改定に基づき、機器団体 (JEITA, CIAJ) のガイダンス改定に協力。

6) リユース

- ・ リユースガイダンス規格は CD (委員会原案) まで。

2. 国際電池規格委員会

<2019年度事業報告>

各 IEC 規格 WG の中心的役割を果たし日本メーカー仕様を基本とする規格化に向けて活動

- ・ 産業用 Ni-MH : 日本メーカー仕様の充電条件 (4種) を選択出来る寿命試験の規格化。
- ・ 産業用 LIB : EMC (一般要求) は市販品限定。ESD 試験条件緩和、類焼試験の数量低減で規格化。
- ・ LIB 内部短絡試験 : 日本提案の FISC 試験を従来の特定国試験から国際標準試験へ昇格。
- ・ LIB 内部短絡試験 : 日本提案の FISC 試験を従来の特定国試験から国際標準試験へ昇格。
- ・ IEEE 及び ANSI : 米国組織会議に参画。

<2020年度事業計画>

IEC / 米国の規格作りで、日本にとって不利にならないよう意見提案を継続

- ・ LIB 内部短絡試験の規格 : FISC の代替試験案は、引き続き検証データ等で誤判定のない方法を継続審議。
- ・ 非駆動用車載 LIB 性能規格 (IEC63118) : LIB 基本の安全動作領域を超える高温での連続充電試験、低温 (-30℃) 放電試験の要求あり。温度条件等の見直しで交渉を継続。
- ・ 米国組織の ANSI には継続参画。

3. 国際電池輸送委員会

<2019年度事業報告>

リチウム電池輸送の新基準策定のための試験方法確立に重点対応

- ・危険物分類での新クラス分け(国連危険物委員会 4回)で、基本試験方法の再現性を確認。
- ・航空輸送の新包装基準策定(ICA0会議:2回、SAE会議:2回)にて、試験機関間での結果比較から試験法を見直し。

<2020年度事業計画>

安全輸送ルール策定と新規格のスムーズな導入施策の実施

- ・リチウム電池の新クラス分け(UN危険物委員会 3回)および、航空輸送の新包装基準策定(SAE会議 3回)にて試験方法の妥当性を検証。
- ・航空輸送の2021年規則改定(ICA0会議 1回)に対しスムーズな導入展開を図る。
- ・類焼試験方法(UNおよびSAE)への技術情報提供など、アドバイスを実施。

【新規】(仮)小型電固体電池輸送WGを新設し、規制緩和可否の検討実施。

輸送の手引書(2021年版)の発行。

4. 普及促進委員会

<2019年度事業報告>

継続した蓄電池システムの普及促進提言をまとめ、再生可能エネルギー導入を促進

- ・経産省:防災対策、リユース等に焦点を絞った提言書提出。
- ・消防庁:Li-Ion電池の保管時における電解液総量規制適正化交渉。
- ・「Li-Ion蓄電池まるわかりBOOK」の改訂実施。

<2020年度事業計画>

蓄電池システムを普及・促進するための政策案検討・規制適正化交渉等を実施

- ・経産省、資源エネルギー庁、環境省、文部科学省:予算化する際の政策提言、材料提供。
- ・消防庁:Li-Ion電池に関する規制適正化交渉。

5. 駆動用車載LIB委員会

<2019年度事業報告>

車載LIBリユースに関し、BAJの意見発信、国際動向把握、標準化への対応実施

- ・電動車活用社会推進協議会に参画。リユース時PL責任の課題を提起し法対応の必要性を要望。
- ・JARIリユースTGに参画し、LIBリユース規格の方針と分担を協議。
- ・車載LIBのリユースに関し、欧州エコデザインバッテリー関連情報を収集し共有。

<2020年度事業計画>

リユースに係わる規格策定に向け、海外動向を見極めMETIや自動車業界と連携して推進

- ・METI/自動車業界が進める車載LIB再利用に関し、動向の調査と意見の発信を進める。
- ・リユース規格に関して、JARI等と協議して対応(ガイダンス規格、製品規格、マネジメント規格)。
- ・車載LIBのリユースに関し、特に欧州での動きの情報収集と、BAJの意見発信を行う。

6. PL委員会

<2019年度事業報告>

電池の事故防止のための啓発活動を実施

- ・電池の正しい使い方等に関する啓発資料:リサイクルや水害についてガイドライン内容を改定。
- ・スマホ、PC、モバイルバッテリーについて市場事故件数推移による対策効果の確認を実施。
- ・ゴミ回収車、容器リサイクル工程での事故増加に対する啓蒙活動を推進。

<2020年度事業計画>

電池の正しい使い方の継続的な啓発強化

- ・電池の正しい使い方等に関する啓発資料:表示ガイドライン補足版を発行。
- ・スマホ、PC、モバイルバッテリー(モバイル3製品)について市場事故状況の把握/共有を継続(電動アシスト付き自転車、非純正バッテリー使用機器等を追加)。

7. 再資源化委員会

<2019年度事業報告>

- ・ 小型二次電池の適正・安全回収に向けた活動を推進
- ・ 最新版JIS、法令、JBRC業務に対応した識別表示ガイドライン改定し発行。
- ・ PSE規制後のモバイルバッテリーの表示調査報告書作成。

<2020年度事業計画>

- ・ 小型二次電池の適正・安全回収の取組み強化
- ・ 回収責務の表示及び記載をしていない電池使用機器及び充電式電池の実態調査。
- ・ BAJへの問合せの多い表示・回収項目への対策検討。

8. 広報総合委員会

<2019年度事業報告>

- ・ 体験型イベントにより、コイン形電池の乳幼児誤飲事故防止やリチウムイオン電池廃棄の注意喚起、バッテリーの点検・交換の訴求を実施
- ・ 電池の安全で正しい使い方の啓発を、フェスタ、手作り乾電池教室、毎日新聞への記事掲載で実施。
- ・ でんちフェスタや手作り乾電池教室では、充電式電池のリサイクル・廃棄に関する啓発を実施。
- ・ 自動車用バッテリーの点検・交換促進は、スポニチや業界新聞への記事掲載・交通安全イベントでのチラシ配布、フェスタでの展示パネルで実施。

<2020年度事業計画>

- ・ 消費者に向けて、電池の安全で正しい使い方や回収・リサイクルについて、自主イベントや啓蒙冊子、各メディアを使い啓発活動を実施
- ・ 電池の安全で正しい使い方の啓発（乳幼児の誤飲事故防止、廃棄方法、リサイクル）。
- ・ 自主イベントの開催：でんちフェスタ、手作り乾電池教室（電池に対する興味を喚起し、回収・リサイクル、廃棄など環境意識を醸成）。
- ・ 自動車用バッテリーの定期点検・買い替えの促進。

9. 国際環境規制総合委員会

<2019年度事業報告>

- ・ 欧州・アジア・北米・中南米の各タスクチーム会議を開催。

- ・ ICBR (国際電池リサイクル会議)等の国際会議に参画。

<2020年度事業計画>

- ・ 各国環境規制、リサイクル状況の調査と対応。
- ・ 環境関連国際会議への参画。

JBRC 報告

<2019年度事業報告>

1. 会員状況

- ・ 2月現在：359法人

2. 具体的施策実施方針

- (1) 小型充電式電池の安全な回収・再資源化処理の強化
 - (2) 小型充電式電池の回収量確保と回収推進策の強化
- ・ 回収状況：前年同期比 108.6%
 - ・ 正極系リチウムイオン電池回収量：Co系以外 61%
 - ・ 排出者登録数の推移：2018年度末比 純増数 +1,115
 - ・ 回収推進策：展示会、出前授業、クイズキャンペーン

<2020年度 JBRC 事業方針(案)>

「安全で持続可能な仕組みと体質の強化」

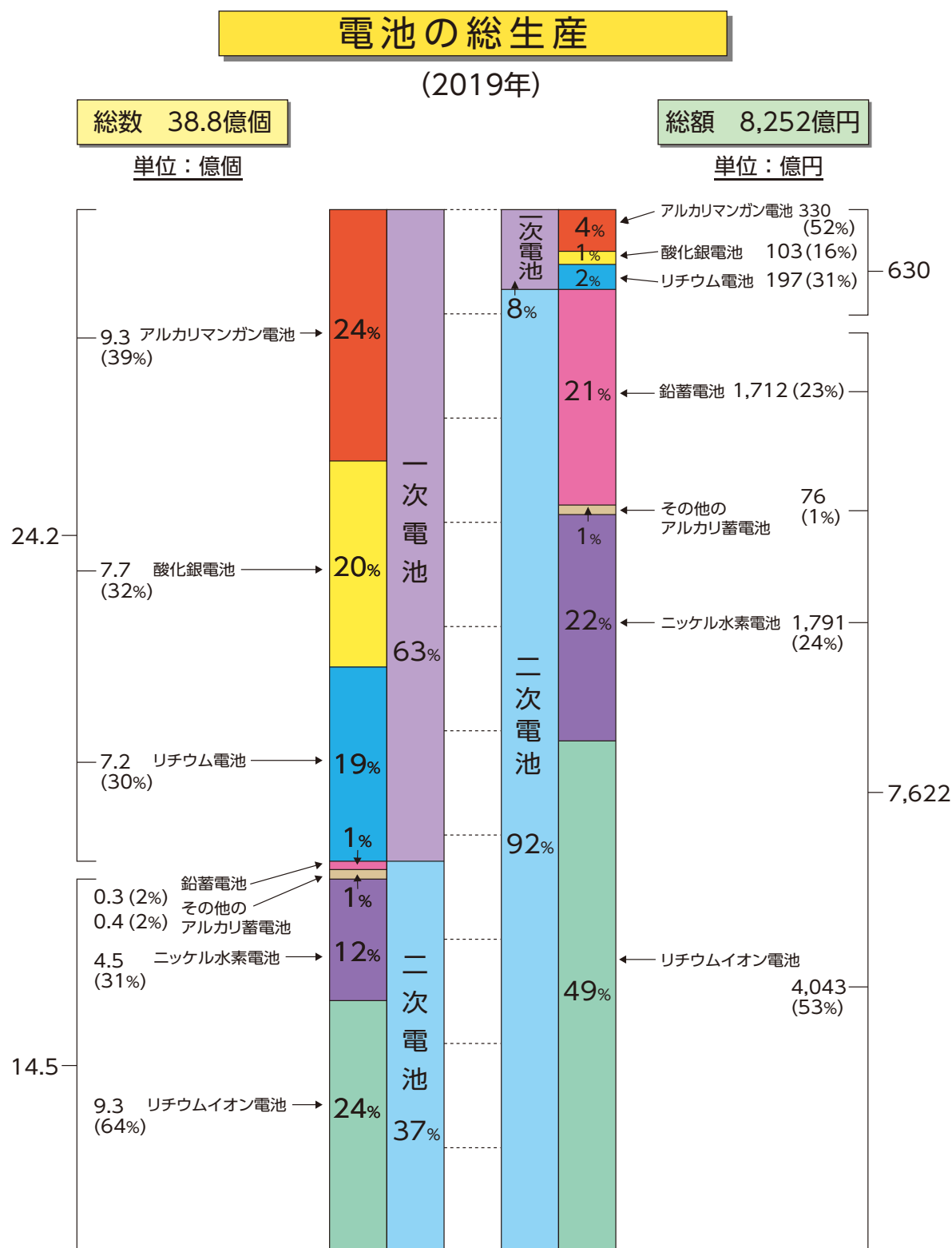
1. 小型充電式電池の安全な回収・収集運搬業務の強化
2. 小型充電式電池の安全な回収推進策の強化
3. 管理・運営業務の効率化

2019年電池の総生産額は8,252億円

経済産業省機械統計によると、2019年の電池総生産額は8,252億円と前年比98%と微減した。電池総生産数は38.8億個と前年比93%と減少した。

項目別では、一次電池の生産額が630億円（前年比

101%）と増加し、二次電池の生産額は7,622億円（前年比98%）と減少した。種類別生産額の比率に大きな変動はなかったが、リチウムイオン電池の生産額比率が、依然電池全体の53%を占めている。



※単位未満を四捨五入しているため、内訳の積み上げと合計が一致しない場合があります。

経済産業省からのお知らせ

2020年工業統計調査の実施について

製造事業所の皆様へ

総務省・経済産業省

総務省・経済産業省では、工業統計調査を2020年6月1日現在で実施します。本調査は、製造業を営む事業所を対象に、1年間の生産活動に伴う製造品の出荷額、原材料使用額などを調査し、製造業の実態を明らかにすることを目的としています。本調査は、国の重要な統計調査であり、調査結果は国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として使われるほか、大学や民間の研究機関等においても広く利用されています。調査をお願いする製造事業所には、本年5月から6月に

かけて、調査票を統計調査員が持って伺うか、または国から直接郵送でお届けいたしますので、お忙しい時期とは存じますが、調査にご理解いただきますようよろしくお願いいたします。また、同時に実施している経済構造実態調査の対象事業所におかれましては、両調査にご回答をお願いします。なお、皆様からご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は保護されますので、正確なご記入をお願いします。

工業統計調査

皆様のご回答をお願いします。
ぜひインターネットでご回答ください。



調査期日 **令和2年 2020年 6月1日**  政府統計
統計法に基づき、大規模な統計調査でも、調査対象者の秘密の保護に努めます。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

<https://www.meti.go.jp>

工業統計 検索 

2020年3月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議 他	2日(月)	蓄電池設備整備資格者 講習実施委員会テキスト分科会	講習テキスト・修了考査の改定。
	17日(火)	新種電池研究会	新種電池に関する情報交換、他。
二次電池部会	18日(水)	据置鉛分科会(電話会議)	JIS C8704-1審議。
	23日(月)	産業用電池リサイクル委員会	BAJ HP 改訂審議、他。
二次電池第2部会	18日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	24日(火)	駆動用車載LIB委員会・ LIBリユース規格分科会合同会議	車載LIBのリユースに関する検討。リユースガイダンス規格の検討。
	27日(金)	蓄電システムWG	JIS規格検討。
	30日(月)	リチウム二次分科会	JIS C 62133-2 JSA様式調整、外部審査団体コメントへの対応審議。
一次電池部会	11日(水)	規格小委員会	JIS C 8513改正審議、IEC 60086シリーズの検討。
	12日(木)	リチウム小委員会	IEC対応、リチウム電池輸送規制対応、他。
	13日(金)	リチウムコイン二次電池 国際規格WG	IEC 61960-4 FDIS 各国コメント対応、ウォッチ用日本案協議、他。
	25日(水)	誤飲対策セルWG	キッチンペーパー及びろ紙試験結果共有、ハム試験との差異検証、他。

1月度電池販売実績(経済産業省機械統計)

(2020年1月)

単位:数量一千個、金額一百万円(小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

(2011年~2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む)

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

(2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません)

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月~当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	300,574	71,989	90%	96%	300,574	71,989	90%	96%
一次電池計	189,116	6,096	98%	94%	189,116	6,096	98%	94%
酸化銀電池	62,458	963	120%	128%	62,458	963	120%	128%
アルカリ乾電池計	63,304	2,384	87%	77%	63,304	2,384	87%	77%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	10,714	631	79%	76%	10,714	631	79%	76%
リチウム電池	63,354	2,749	94%	104%	63,354	2,749	94%	104%
二次電池計	111,458	65,893	79%	96%	111,458	65,893	79%	96%
鉛電池計	2,660	16,578	96%	97%	2,660	16,578	96%	97%
自動車用	2,045	10,536	94%	91%	2,045	10,536	94%	91%
その他の鉛蓄電池	615	6,042	102%	107%	615	6,042	102%	107%
アルカリ蓄電池計	39,676	15,739	101%	105%	39,676	15,739	101%	105%
ニッケル水素	36,754	15,111	101%	105%	36,754	15,111	101%	105%
その他のアルカリ蓄電池	2,922	628	100%	93%	2,922	628	100%	93%
リチウムイオン蓄電池計	69,122	33,576	70%	93%	69,122	33,576	70%	93%
車載用	37,665	23,441	53%	85%	37,665	23,441	53%	85%
その他	31,457	10,135	112%	117%	31,457	10,135	112%	117%

1月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2020年1月)

単位:数量一千個、金額一百万円(小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月~当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計 (輸 出)	177,229	38,611	92%	90%	177,229	38,611	92%	90%
一次電池計	89,159	2,173	106%	98%	89,159	2,173	106%	98%
マンガン	30	5	—	—	30	5	—	—
アルカリ	5,646	107	107%	102%	5,646	107	107%	102%
酸化銀	41,738	514	116%	102%	41,738	514	116%	102%
リチウム	41,744	1,227	98%	91%	41,744	1,227	98%	91%
空気亜鉛	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
その他の一次	0	321	161%	132%	0	321	161%	132%
二次電池計	88,070	36,438	81%	90%	88,070	36,438	81%	90%
鉛蓄電池	140	925	89%	84%	140	925	89%	84%
ニカド	510	75	69%	47%	510	75	69%	47%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	—	—
ニッケル水素	9,003	10,116	100%	135%	9,003	10,116	100%	135%
リチウムイオン	72,443	17,530	77%	80%	72,443	17,530	77%	80%
その他の二次	5,973	7,792	118%	79%	5,973	7,792	118%	79%
全電池合計 (輸 入)	147,239	20,848	100%	89%	147,239	20,848	100%	89%
一次電池計	137,302	2,032	100%	85%	137,302	2,032	100%	85%
マンガン	12,975	135	96%	88%	12,975	135	96%	88%
アルカリボタン	3,263	26	114%	105%	3,263	26	114%	105%
アルカリその他	103,968	1,279	101%	96%	103,968	1,279	101%	96%
酸化銀	247	7	149%	129%	247	7	149%	129%
リチウム	12,201	475	92%	75%	12,201	475	92%	75%
空気亜鉛	4,643	77	101%	80%	4,643	77	101%	80%
その他の一次	3	32	29%	22%	3	32	29%	22%
二次電池計	9,937	18,817	93%	89%	9,937	18,817	93%	89%
鉛蓄電池	794	3,552	99%	98%	794	3,552	99%	98%
ニカド	29	127	68%	73%	29	127	68%	73%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	—	—
ニッケル水素	2,159	371	108%	94%	2,159	371	108%	94%
リチウムイオン	6,850	13,810	88%	86%	6,850	13,810	88%	86%
その他の二次	106	956	104%	122%	106	956	104%	122%